

神戈陵を渡る風

令和3年度 川辺高校 校長通信 第005号

令和3年5月7日(金)発行

風薫る5月、爽やかな風を感じ、過ごしやすい気候となりました。GWも終盤、昨日と、本日は南薩地区大会で多くの生徒が大会に臨んでいました。かたや、学校に残っている皆さんは、直前に迫った中間考査に向けた準備に取りかかっているところだと思います。

本日は、戦国時代終盤の茶人「千利休」の名言で、「**守破離**」について詠んだ言葉についてお話しします。

規矩(きく)作法

守りつくして **破**るとも
離るとても **本(もと)**を忘るな

<利休>

(安土桃山時代の茶人, 1522 ~ 1591)

「**守破離**」は、武道や芸術などの、修養の段階を、表現した言葉になっていますが、元々は、戦国大名の武田氏の、戦略、戦術の軍学書である、「甲陽軍鑑」に記された、兵法用語です。

「**守**」 師の教えや基本を忠実に守り身に付ける。

『**守**』の段階で、目指すのは
「**優秀者**」

「**破**」 基礎を超えたアレンジを取り入れる。

『**破**』の段階で、目指すのは
「**変革者**」

「**離**」 独自の境地を切り拓く。

『**離**』の段階で、目指すのは
「**創造者**」

どんな分野でも、基本が大切で、常に戻るべき、基本が必要です。色んな分野、組織などで、形骸化が進み、活力を失っているのは、この基本に問題があるケースが多いです。

スポーツなどでも、技術的なことを、上辺だけで習得していることが、多くなっています。な

ぜそれが必要なのか、どうしてそれが強く美しくなるのかななどの、もっと本当に根底のことを知ることや、感じることもなく、こうすればいいんだ、ずっとこうして来たから、というようなことが、基本になっている場合があります。こういう基本の上に、出来上がったものは、そもそも基本そのものがあやふやなものですから、立ち戻れるものになりません。

これは、学ぶ立場でも、教える立場でも、言えることです。例えば、基本を習得しよう、させようとする時に、技術的な基本を習得するために、形やトレーニング方法を学び、教えますが、なぜその形がいいのか、どうしてそういうトレーニングが必要なのか、その背景や根底のメカニズムを、知ることなしに積み上げて、崩れた時に、立ち直れないことになります。また、こういう基本の学び方、教え方をしているから、基本を超えた「破」や「離」に進めなくなってしまいます。

本当の基本、根源を習得しなければ、基本そのものが疎かですから、超えることで、独自の境地が見えてきません。

学ぶ人はもちろんですが、教える人が、根源を知らなければ、正しく伝えられません。だから、間違いなく、形骸化してしまいます。皆さんは、追求していることの、自然の摂理に沿った、根源的な基本を把握していますか!

どんなにアレンジしようと、独自の境地に到達しようと、普遍的に、すべての行動を支えてくれているものが、本当の基本です。

この基本さえ、しっかり把握して、習得していれば、形骸化することも、行き詰まることもありません。

本当の基本を知り得ること、身につけることこそが、皆さんの夢の実現への確実な道を切り拓いてくれます!

だからこそたくさん「守」を行い、「破」「離」と進んでいくことで、自分にしか生み出せないものが創れるようになります。

【神戈陵散策】



神戈陵の登り道



4月の神戈陵の広場(丘陵)



蓮子結夢(はつしゆめ)さんが描いた神戈陵

【神戈陵命名由来】

旧制中學校第7代山崎校長による”神戈陵”命名の経緯より

神戈陵

校地ノ西北隅ノ陵丘ヲ陣ヶ岡ト呼
 ビ校庭ヲ矢石ヶ原ト称ス蓋シ古戦場
 ナリ、今字音ニ因ミテ陣ヶ岡ヲ轉シ
 テ更メテ神戈陵ト名ケ校友會雜誌ノ
 題號トス。神戈ノ二字ハ魏曹植德論
 中『神戈遙指則妖氣順制靈旗一舉則
 朝陽播越』ヨリ之ヲ採シ

【角解言説】

盖(けだ)し → 「恐らくは」の意味

今字(あざ)音(おと)に

→ 「今の集落の呼称」の意味

因(ちな)みて → 「ゆかりを得て」の意味

轉(こか)して → 「転じて」の意味

更(あらた)めて名け

→ 「改めて名付けて」の意味

號 → 題の旧漢字

魏曹植德論中

→ 「魏の皇族である曹植の書いた德論から引用した」の意味

『神戈遙指則妖氣順制靈旗一舉則朝陽播越』から冒頭の神戈を陣ヶの代わりに用いた。

校内に、このような陵丘(小高い山)がある学校は全国的にも大変珍しいところだと思います。

120年を超える第四中学校, 旧制川辺中学校, 川辺高等学校の変遷の歴史をずっと見守ってきた丘であり, 神戈陵魂の宿る聖地だと思います。

是非, 梅雨が訪れる前の天気がいい日に一度は登ってみてください。この時期は, 小鳥のさえずりに心を洗われ, 新緑の香りによって, 様々な風景を醸し出す神戈陵を楽しんでみましょう。